

文化いざさき

第10号



石山観音の大鯨口／撮影者 加治屋 勉

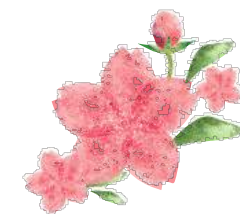
伊勢崎市文化協会

令和3年度文化協会事業予定 伊勢崎市文化協会設立15周年記念文化祭

期日 令和4年3月19日(土)～21日(月)

会場 伊勢崎市文化会館

内容 15部門合同による文化祭
伊勢崎市文化会館の施設を全て利用し、展示・舞台ともに盛大に開催します。



※詳細につきましては、内容が決まり次第、市の広報等を通じて皆様にお伝えします。



※写真は、伊勢崎市文化協会設立10周年記念文化祭の時のもの

編集後記

伊勢崎市文化協会は四市町村の文化協会が統合し、新生「伊勢崎市文化協会」としてスタートして十四年が過ぎ、令和三年度は十五年記念事業が控えております。

令和元年度第四期事業から令和二年度の事業がほとんど中止となり一部門のみが発表出来ただけです。事業が行えない中で各部門の投稿をしていただいた原稿は辛いものがうかがえます、その中でも繋いで頑張っ行こうという姿勢が素晴らしいと思えました。会員の皆様の熱意あるご協力に編集委員一同感謝申し上げます。

文化活動を行えるのも賛助会員の皆様のご支援、ご協力のたまものです。併せて市長、教育長並びに事務局の熱意のこもった皆様のご協力を頂き心から感謝申し上げます。

橋本 記

『コロナ禍を克服し文化に新しい芽を花を』

伊勢崎市文化協会 会長 諏訪 勝美



令和二年は新型コロナウイルス感染症と云う世に稀に見る年明けとなり苦難の悲報で迎えました。三月からは新型コロナウイルス感染症拡大により、公共施設の貸し出しが停止され、文化活動は会議や活動拠点の教室も閉鎖され自粛となりました。令和元年度発表の第四期事業や役員会も中止され、四月には多数での会合は好ましくないということで、総会の事業内容については事務局員を交えて協議し、副会長に原案書を送り書面決議し、理事及び各実行委員長に書面で通達を行うことに決定しました。翌日には国から緊急事態宣言が発令され五月も会場使用不可能となり、伊勢崎市文化協会の総会も書面での総会となりました。その影響から第一回文化協会功労表彰も、直接当人に贈り在宅での受賞となってしまう。七月に入ると不要不急の自粛に耐えかねた会員から練習再開を懇願され、万全なコロナ対策を条件に三密を避けマスク着用、手指は勿論のこと、使用物全ての消毒、三十分間隔にドアや窓を開け換気の確認など条件に注意をしながら再開が可能を話し合い、責任者は大変な御苦労をしていることを痛感しました。恐る恐る活動を開始し少しは落ち着くものと思いついた矢先、群馬県の感染者数も増加を始め、年末に入ると急増し県の行事も全国規模の行事も次々と中止される中、会員の家族から心配の声も上がり教室に行かないように子供達から論され、休会したいという情報も入ってきました。ここ数年は少子高

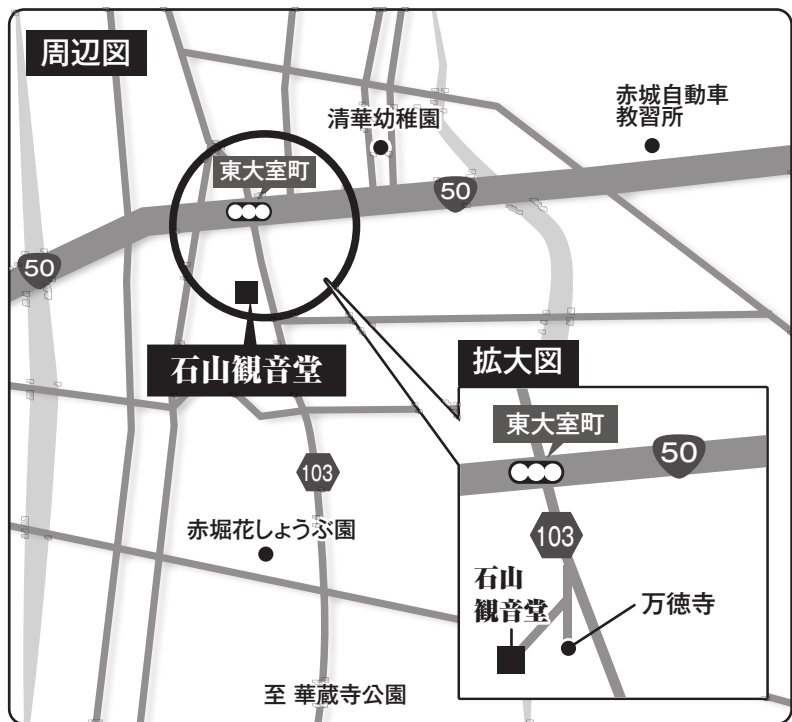
齢化の波で会員減少のうえ、コロナ禍が後押しするように会員減少に拍車がかかり、これもまた各指導者の肩に重く圧しかかり一層の苦悩に心が痛む思いです。令和三年に入り、群馬県でも感染者急拡大に伴い、施設の貸し出し中止が二転、三転と延期となり、二月には少し減少に転じたが、依然猛威を振るって衰える気配がありません。自分だけのことでなく人のためにも自粛をするという役員さんのご指導により、会員皆さんの徹底した感染対策のご協力により十五部門、五千七百九十名の会員の内から感染者が一人も出てこないことがせめてもの救いであり感謝しております。

しかし、文化を誇る伊勢崎市民として、ここで挫けてはいられません。今まで皆さんと手を取り、永い間伝承し育ててきた文化の伝統や学び場がコロナ禍で、世界中が山林火災のようにならざるを焼き尽くされ滅亡の危機に遭遇しておりますが、文化の根、伝統の根、絆の根は残っております。やがて野山にも家庭の庭の樹木にも新しい芽を吹き、花が咲き、実も熟れる季節も訪れます。皆さんももう少しの辛抱です。安全なワクチンを早く受けられコロナ感染が速やかに収束しますことを願ひ会員皆さんの培った文化を守り、変わらぬご支援ご協力により捲土重来、文化協会の益々の発展と皆様のご活躍をご期待申し上げます。

また、いつもご指導ご協力を頂いております事務局スタッフをはじめ多くの関係各位そして賛助会員の皆様方には心より感謝致しております。今後とも従来にも増してのご尽力とご鞭撻を賜ります様お願いを申し上げ挨拶とさせていただきます。

【表紙説明】群馬県指定重要文化財 石山観音の大鰐口

石山観音は馬の信仰で知られ、近郷近在から人々が馬を連れて参拝し、鰐口を鳴らして馬の無病息災を祈った。この大鰐口は、天明七年（一七八七年）、一九一人の寄進者が奉納したもので、製作は佐野（栃木県佐野市）天明鋳物師（てんみょういもじ）新井源七。大きさは直径一九二・五センチメートルあり、わが国最大級の作例である。鰐口の銘文から地域社会の信仰の一端を知ることができる。



伊勢崎市文化協会

～各部門のあゆみ～

写真部門

第十四回写真展が中止

橋本 智明

自然はコロナに関係なく、季節を刻んで春を迎えました。新型コロナウイルスの流行で一年を超える時が過ぎ、写真部門では二年連続の写真展が中止となりました。

令和三年三月十八日（木）から二十一日（日）の四日間の予定でした。一月二十九日の部門会議では、コロナ禍の中で写真展開催について沢山の議論が交わされました。その結果開催することに決定しましたが、三月十一日の夕刻突然、市の感染症対策本部で、「市有屋内施設利用中止」が決定されたと連絡を



平成 30 年度



平成 30 年度

頂きました。事務局の担当者の方も、写真部門の各団体の方も、ほぼ準備完了で開催日が来るのを待つだけでした。緊急事態宣言が延長されなければ開催出来たのにと、皆さん大変落胆してました。次の目標に向かって進むことが一番ですが、二年連続で写真展中止となり気持ち折れてしまふよという人もいました。その中で皆さん工夫して作品作りを重ねております。

三月二十一日をもって、今まで出ていた緊急事態宣言が解除となり、レベル四から三になって屋内施設が使用できるようになりました。令和三年度の十五周年記念合同展で、発表出来ることを強く望んでいます。新型コロナウイルスが早く収束することを願うばかりです。

残念ですが、写真部門では「日報連」さんが令和二年度限りで解散になり、伊勢崎支部の皆様が退会となりました。長い間お世話になり有難うございました。

華道部門

希望の春

大和 妙子

節分、立春が過ぎ、庭の梅が満開となりました。風の無い日は、日差しがポカポカと体を温めてくれて平和な気持ちにさせてくれます。

ところが一歩外に出た途端、人々は皆マスクをかけ、会話も無くすれ違い、私達の生活はすっかり変わってしまいました。



令和元年度

新型コロナウイルスの流行から一年がたった今も感染者はうなぎのぼり、東京をはじめ大都市の緊急事態宣言も二月八日から一ヶ月延長されました。

伊勢崎いけばな協会は、十一月の役員会議で二月十三日、十四日に会場を市役所東館に変更して文化協会展を行う予定でした。令和三年になつてコロナ感染者の増加にともない残念ながら今回は見送ることになりました。令和三年度の第十四回文化協

茶道部門

今いきるんじ

板橋 雅子

会展が開催できたら、会場は春の花材、れんぎょう、水仙、桜、フリージャー等々、たちまち春満開となり、花の香りに包まれることでしょう。その時は多くの方のご来場をお待ちしております。早くコロナが収束し、マスクを外してみんなで笑い合える日が来ることを願っています。



令和元年度



令和元年度

思いもよらないものでした。ある時、お稽古場での雰囲気、先生のお話、皆さんの語らい等、出来なくなつたことの喪失感に気づきました。大切な時間であつたことを強く感じました。自らを見つめ直すよい機会にもなりました。

この状況の中でも、マスクを着けてのお稽古等、様々な工夫をしてきました。以前とは違う仕方を模索しているところですが、これからの生活に応じた、新たな創意や工夫をしていくことが、何事にも大切だと感じて



令和元年度

います。日常生活全般においても同様なことだと思えます。今できることを一つ一つ積み重ねていく。手洗い、マスク、消毒等、出来ることはやり、安心して過ごせるようにしていく。

そして、お茶会に人々が集うことが出来ることを心から願っています。

文学部門

コロナウイルスの収束を願う

吉沢 典子

令和二年度の文学部門の活動は、春からコロナウイルス感染予防のため、公民館や市の施設が一時期使用中止となつてしまい、その間、会員同士が一堂に会して活動することが困難となつてしまったため、短歌や俳句の部門では、各自の作品をプリントして会員に配布し、感想や意見を交換し合ったり、新聞の文芸欄に、作品を投稿したりしながら会員の士気を高め合つ



平成 30 年度



平成 30 年度

てきました。また、「紙芝居を楽しむ会」では、対面活動が難しくなってきたため、紙芝居を貸し出す活動に力を入れてきたとのことでした。そんな中でも「群馬童話研究会」では、年一回の会誌の発行に向けて準備を進めているとのことでした。

コロナ禍ではありますが、それぞれの会が、工夫をしながら活動を継続していることを、頼もしく思いました。

しかし、恒例の華道部門と共催で実施してきました第十四回文学祭は、コロナウイルス感染が収束しないため、中止となつてしまい、会員一同本当に残念に思いました。事務局の方には、色々と会場のレイアウトやチラシ等、考えて頂いて参りましたのに、申し訳なく思つて居ります。

しかし、このことは、文学部門だけでなく、他の多くの部門でも同じような状況であつたようです。残念なことではありましたが、二日も早くコロナウイルスが収束して、令和三年度こそ、文学祭が開催できますよう、願つております。

音楽部門

菓籠りのあとで

石橋 久



平成 30 年度

例年境総合文化センターで開催されていた「伊勢崎市民音楽祭」が中止となり、音楽部門ではきれいな歌声が響き合うコーラスと、アコーディオン、ハーモニカ、オカリナそしてバンド演奏の、郷愁にかけられ懐かしい音色が聴かれることはありませんでした。



令和元年度

歌謡部門

収束後の発表会へ

船戸 省三郎

歌謡部門は令和二年二月九日にコロナ禍ではありましたが、二十七回の発表会が計画どおり実施することが出来ました。私ごとですがよく実行できたと安堵致しております。令和二年四月以降コロナ感染症の広がりで、その対策実態状況等の報道が日々増し、生命をも奪いかねない危険なウイ



令和元年度

コロナ禍により、普段通りの練習が出来ずに練習場所を制限されたり、サークルの練習を断念せざるを得なくなり、ほとんどのサークルが休止状態にあると思われるます。現状では、群馬県の警戒度「4」の厳しい環境にありますが、待ち遠しいコロナワクチンがグローバルに行き渡り、コロナの収束が確認されましたら、倍返して日頃の練習の成果を令和三年度の音楽祭で思い切り発揮いたしましょう。



令和元年度

邦楽舞踊部門

コロナ禍に克つ！

川島 和美

今私達が置かれている状況は、コロナ禍によって生活が一変し、今までの固定観念が大きく変わろうとしています。コロナ禍で生まれた「不」に立ち向かうには、焦ることなく絶対に戻る時が来ることを信じて、前



平成 30 年度



平成 30 年度

吟剣詩舞部門

コロナ後に向けて

石田 英生



平成 30 年度

向きに努力し続けることが賢明かと思う次第です。人の生活に密接に関係することのある「伝統文化」はいつの世も変わらず「人の心に灯をともし」ものであり、いつの時代も絶えることはない確信しております。

この時だからこそ原点に返り、舞踊家として舞台芸能に花を添えられる日本舞踊の研究と創作意欲に励みたいと思う次第であります。



平成 30 年度

多くは、文化協会関係の行事を含め、それ以外の催しや、日常の練習活動なども自粛せざるを得ない状況でした。

このコロナ禍以前から、会員の高齢化と会員数の減少が各会共通の悩みであり、この対策に頭を悩まされていたところでした。今回の事態がさらにこれら

の状況に拍車をかけるのではないかと懸念され、会員の皆さんのモチベーションをいかに維持

するかが最大の課題でした。このまま手をこまねいている

と、令和四年春に予定されている文化祭までさらに活動が停滞

することになることが懸念されます。このようなことから、会

員一同で協議の結果、ワクチンなどの効果が期待され一応の収束が見込まれる秋（十月）に、

ある程度規模を縮小した形での発表会を行うことが合意され、

準備活動に入ることになりました。

功させ、これがコロナ後の再出発の足掛かりとなることを期待しています。

民謡民舞部門

心(新型コロナにかかわって)

鐺木 愼紀子

令和二年、辛い一年でした。まだまだ続いております。どう行動すればいいのか、相手に対しての思いやり、それは会わな

いことです。会えば声が出ま

す、体が動きます。行動をおこ

せないことがどんなに辛いか、

しかし考えを変えてみたら体が

休みたい休みたいと叫んでいる

のではないのか、そうか今まで頑

張りすぎたのか、休んだ方がい

いのだと考えを変えました。この先なかなか収束しないと思



令和元年度

ますが発表会が少し先になったと思いたいです。

私事です、令和二年の四月から大学ノートに朝体温を計り書き留めるついでに前日の行動



令和元年度

を雑書しており、今も続けております。書き留めることで分かつたことがあります。自分もそうですが自分を愛してい

ない、言い換えれば「心」が飢え

ているのです。心が飢えている

人が大勢いるのです。そのこと

を知りました。

それは人と人との出会い、繋がり

がりで世の中は成り立っている

のでしよう。民謡民舞も発表会

が出来ませんが、まだまだ先は

長いです。体に気を付けて、自分

分を大事に温存させて皆様とお



令和元年度

郷土芸能部門

今後の活動について

糸井 清春



令和元年度

「郷土芸能部門」の年間行事の「華蔵寺公園花まつり」、「いせさきまつり」、「花火大会」など年間行事すべてが中止となり残念な一年でした。

また、新潟県寺泊町「港まつり」も中止となり、予定していた会員達もいたかと思えます。



令和元年度

会員の皆様には、今後とも、令和三年度から行事等が予定通り行えるようお願いいたします。
今後も「相互の和と協力」を基に活動していきたいと思えます。

洋舞部門

我慢の一年

小林 ひろみ

毎回多くの方々のご来場を頂き発表会を成功させてきました。
実行委員長をはじめ、チームの代表の役員が一年前から準備をしています。リハーサル、そして本番を迎えフィナーレまで、お客様の拍手で「喜び」と「満足」を実感したものでした。



令和元年度

全てのチームが練習を積み重ね本番に備えています。しかしながら、未曾有の新型コロナウイルスの拡大により大変残念なことに「開催中止」となってしまうしました。洋舞フェスティバル開催は会員の誰もが望んでいたかと思えます。



令和元年度

コロナ禍で練習ができなくなり、仲間にも会えない日々が続きました。そして今もマスクが外せません。感染しない、感染させない防止対策を徹底しながら、次回の開催に向け練習に励んでいます。

コロナウイルスによつて当たり前の難しさを痛感いたしました。
今度また、舞台上に立ちスポットライトを浴び、華やかな衣装を身に纏い三分間全集中で踊れることへの感謝の気持ちを笑顔でお客様にお届けしたいと思っています。
みなさんと一緒に大輪の花を咲かせましょう。

自然部門

新型コロナウイルス禍で全行事中止

大和 洋司

令和二年度は、新型コロナウイルスにより部門総合展は中止となりました。部門所属十団体も独自の展示会は、予定会場の閉鎖やコロナ対策で全て中止となってしまうしました。



令和元年度



令和元年度

諸芸部門

私とマジックの出会い

菊地 正之

昭和六十年に子ども会役員になりレクリエーションインストラクターの資格を取りにいき、その中でマジック教室が四時間あったのが私とマジックの出会いでした。
子ども達がマジックを待っているのではない、マジックをやっている所はないか、新聞で殖蓮手品愛好会の記事を見て昭和六十二年に入会しました。

練習は、日曜日で月四回楽しい練習です。平成十四年に伊勢崎マジシャンクラブに改名し、ボランティアで県内どこでも行くようになり分かりやすくなりました。
私の十八番はマジックのどじょう掬いです。多くの人に喜んでもらっています。



平成 27 年度

平成二十六年には、第四回さわやか信州マジック交流会プロに混じって出演しました。平成二十九年九月二十一日フジテ

伊勢崎市文化協会への新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみてはいかがでしょうか。

《入会資格》

入会しようとする団体は、十名以上で組織する団体であり、常任理事会で承認を得て会員となります。

《部門》

- ・美術
- ・書道
- ・写真
- ・華道
- ・茶道
- ・文芸
- ・音楽
- ・歌謡
- ・邦楽舞踊
- ・吟剣詩舞
- ・民謡民舞
- ・郷土芸能
- ・洋舞
- ・自然
- ・諸芸

の十五部門があります。
皆様の活動内容にあった部門にご加入の希望をお願いいたします。

《個人がいずれかのサークルに入りたい場合》

《各サークルへの入会希望者》
事務局まで希望の部門・サークル名をご連絡いただければ、サークル代表者との連絡をお繋ぎいたします。

○お問い合わせ・入会の申し込み先
伊勢崎市文化協会事務局
伊勢崎市産業経済部
文化観光課内

Tel 0270-2712759

美術部門

新型コロナウイルスに思う

鈴木 茂



平成 18 年度

レビ「みんなのニュース」内の「みんなの天気予報」生放送が殖蓮公民館で行われ、菊地、佐藤、牛久保、中野、粕川が出演しました。午後五時二十五分には聴衆は約六百人、午後六時四十五分も約六百人が集まりサインをもらっていました。
コロナ禍で練習もできず、多くの人が私達のマジックを待っていると思えますので頑張ります。



平成 30 年度

です。
そもそも、私達人類と新型コロナウイルスも同じ宇宙の生命体であり、あらゆる生命体と戦ったり共存したり、複雑な関係を築いてきた訳です。人類だって広大な宇宙から見れば微細なウイルスと同じかもしれないし、人類が遠い遠い昔誕生して進化してきたように、ウイルスだって進化していくんでしょうね。

その目に見えない敵との戦いに力を合わせて感染防止の努力をする以外に、今のところ方策はないでしょう。



令和元年度

第十四回書道展
丸橋 孝男
第十四回書道展が令和三年二月五日から七日まで、境総合文化センターで開催されました。今回は十三団体、百六十名が出品参加しました。
この書道展は、文化協会に所属しているサークルの会員が、日頃の成果を発表する場です。お互いに主義・主張が異なり、表現方法や書風等が多様な中、書作品を一堂に会して展示し、研鑽を積むことは大変意義あることだと考えています。
コロナ禍の昨今、文化協会主催の各部門の発表・展示等が中止になる中、この書道展が開催されたことを出品者の一人として喜ばしく思っています。マスク・検温・ソーシャルディスタンスをとり、作品撤去、搬出も十分間で終了という手際の良さで無事閉じることができました。



令和 2 年度



令和 2 年度

コロナが収束し、落ち着いた世の中になることを願うばかりです。

令和3年度伊勢崎市文化協会団体名簿

(令和3年5月1日現在)

		団 体 名	代 表 者	人数
郷土芸能	34	福島町八木節保存会	本木 栄一	25
	35	富塚町銭太鼓愛好会	岡田 きみ子	27
	36	群天星(ムリティンブシ)	鈴木 円	24
		合 計		1,068
洋舞	1	JAあずまフラクラブ	細野 京子	13
	2	フォークダンス境	坂本 悦代	9
	3	プルメリア	柳澤 節子	10
	4	レクダンス三郷	永島 トシ江	20
	5	ハイビスカス豊受	田中 節子	13
	6	フラナニ・プアリリレフア	井上 和代	10
	7	フラナニ・ハイビスカス赤堀	斎藤 千代子	10
	8	ヒナノ	田端 道子	12
	9	ピカケ伊勢崎	春川 庸子	15
	10	Puanani	馬場 明美	14
	11	レイモミ	深澤 はる代	14
	12	三郷小町	加藤 和江	13
	13	ロゼラニ	多賀谷 道代	10
	14	フラサークルパカラナ	宮野 久美子	9
	15	フラナニプエオネ	小鮒 英子	11
	16	'Ohana Lōkahi	上岡 文子	65
	17	名和ナイスフラレディース	栗原 昌代	18
	18	フラグループ Nā Lei	富田 幸子	10
	19	カプア	桑原 郁代	12
	20	ミノアカ	栗原 恵理子	11
	21	レクダンスKSG	菊池 みよ子	10
	22	殖蓮プルメリア	清水 芳子	27
	23	Pasion Peru	竹原 ドラ	18
	24	レクダンス パープル	小澤 富士子	15
	合 計		369	
自然	1	日本盆栽協会伊勢崎支部	阿久澤 嘉昭	16
	2	伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	20
	3	伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司	26
	4	伊勢崎市蘭蕙愛好会	久保田 正	8
	5	伊勢崎山草会	新井 利一	11
	6	伊勢崎菊花同友会	小島 勝	19
	7	伊勢崎石仏の会	吉田 博行	9
	8	境山草会	瀬井 明	17
	9	うえはす山野草の会	小野里 美恵子	10
	合 計		136	
諸芸	1	あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉	19
	2	伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	23
	3	伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12
	4	伊勢崎佐波囲碁会	村岡 武雄	60
	5	境囲碁研究会	天田 育宏	20
	合 計		134	
総計 199団体 5,528名				



		団 体 名	代 表 者	人数	
吟 剣 詩 舞	1	寿流 日舞 詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14	
	2	寿流 日舞 詩舞 鶴久紀会	原 けい子	27	
	3	心彰流 愛吟詩道会 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9	
	4	吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	関 勝巳	50	
	5	吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	35	
	6	美扇流 鶴緑会	金井 キヨミ	3	
	7	吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	岡林 延夫	15	
	8	吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	17	
	9	吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	10	
	10	吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	村田 勇	33	
	11	心彰流 剣舞剣彰会	齋藤 ひとみ	10	
	12	岳心流 東米諏訪美会	諏訪 勝美	15	
	13	心彰流 あずま吟詠会	小暮 利明	15	
	14	心彰流 あずま剣詩舞教室	白川 節子	10	
	15	菊水流 菊崇会	田村 雅代	9	
		合 計			274
	民 謡 民 舞	1	旭星会	高野 邁	28
2		旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	15	
3		慎星会	鐺木 慎紀子	13	
4		天秋会	大谷 ヒデ子	10	
5		天秋会江原教室	江原 昌代	10	
6		秀月会	堀川 茂	10	
7		山輝雅会	森村 米多	10	
8		マズルカFD(フォークダンス)茂呂	松本 春野	22	
9		登三善会	浅沼 利子	10	
10		宮子民踊会	小林 美知代	5	
11		優乃会	水島 正枝	11	
	合 計			144	
郷 土 芸 能	1	八斗島民芸保存会	松本 好夫	23	
	2	宮子町八木節保存会	井上 清行	25	
	3	伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	小野田 安子	20	
	4	三郷八木節保存会	糸井 清春	22	
	5	神谷八木節会	小林 好夫	25	
	6	赤堀郷友会	金子 英保	18	
	7	田下八木節会	今井 照彦	22	
	8	上武士八木節同好会	高山 健	17	
	9	上渕名八木節保存会	長沼 市治	17	
	10	百々親友会八木節部	菊池 広文	65	
	11	伊勢崎和太鼓	半田 孝	30	
	12	荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20	
	13	下蓮町安来節保存会	佐藤 貢	10	
	14	木遣り保存会	関口 二三司	50	
	15	千本木龍頭神舞保存会	丸橋 操	27	
	16	南北千木町屋台囃子保存会	丸橋 良一	35	
	17	伊勢崎銭太鼓愛好会	重田 玲子	25	
	18	西久保三おはやし保存会	常木 静子	15	
	19	上州あずま太鼓会	須賀 正文	39	
	20	氣楽流柔術保存会	水科 壽美	30	
	21	下渕名獅子舞保存会	大橋 増一郎	18	
	22	東新井獅子舞保存会	高橋 一豊	31	
	23	東町囃子保存会	岡本 宇正	50	
	24	女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	28	
	25	栄町祭囃子保存会	飯島 義雄	112	
	26	三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	40	
	27	上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46	
	28	剛志民謡保存会	森村 清志	17	
	29	赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	44	
	30	上州八木節西小保方匠	牛腸 一英	11	
	31	美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30	
	32	稲間組屋台・屋台囃子保存会	板垣 有一	20	
	33	上州国定睦	井上 潤	10	

		団 体 名	代 表 者	人 数
音 楽	1	伊勢崎アコーディオンサークル	中野 靖巳	15
	2	伊勢崎市民吹奏楽団	境野 智章	61
	3	アイオーしんさん音楽部	高間 博史	17
	4	ISESAKI SMC BIG BAND	西野目 心吾	34
	5	早川歌謡バンド	吉野 宗治	25
	6	合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	7	伊勢崎混声合唱団	矢内 三四卯	20
	8	伊勢崎コーラス・ノイエ	今 啓子	36
	9	境女声コーラス水仙	村上 節子	27
	10	コーラス・ヴィオラ	志村 美子	18
	11	伊勢崎第九を歌う会	尾内 本典	80
	12	ルーエクラブ合唱団	池田 昌子	23
	13	あすなろハーモニカクラブ	石橋 久	18
	14	凜	平田 康子	15
	15	女声コーラスめだか	青木 典子	25
	16	オカリナ・響	柴崎 登起子	15
	17	コール ぼこ・あ・ぼこ	田中 悦子	28
	18	あんさんぶる22(アンサンブルトゥエンティトゥー)	下田 清子	13
		合 計		
歌 謡	1	あずま白樺会	船戸 省三郎	25
	2	櫻桃会	植木 昭一	160
	3	ひまわり歌謡好友会	川田 キチノ	68
	4	ミュージックさかい	田村 文司	11
	5	清水歌謡クラブ	前野 政一	92
	6	白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	139
	7	大国歌謡クラブ	荒井 通好	63
	8	清水歌謡教室	清水 巖	108
	9	植木歌謡教室	植木 春江	32
	10	ラッキーなかよし会	伊藤 ひろみ	33
	11	TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	28
	12	歌謡教室ひばり会	田島 初美	20
	13	歌謡教室チェリー	奥積 房江	31
		合 計		
邦 楽 舞 踊	1	伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	120
	2	祐妃会	川島 かずみ	20
	3	悦紅会	飯塚 悦子	10
	4	扇優会	石倉 優美子	22
	5	いづみ会	藤枝 敏子	8
	6	扇紫江会	林 君江	15
	7	吉三会	飯野 弘美	10
	8	玉藻会	佐俣 玉江	10
	9	若駒会	星野 良枝	10
	10	舞踊松葉会	田所 陽子	14
	11	琴謡会	井上 明子	8
	12	美也珠会	小島 美也子	10
	13	日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	31
	14	樹鳳会	小竹 淑子	10
	15	久紀の会	児島 美江	27
	16	グループことぼぎ	尾内 能利江	15
	17	好風会	角田 庸子	10
	18	やなぎ会	高橋 ゆり子	10
	19	いせさき能実行委員会	斎藤 美智子	12
	合 計			372

		団 体 名	代 表 者	人数
美術	1	紫墨会	児島 貞二郎	13
	2	境水彩画会	田島 敏宏	16
	3	境ざりえの会	柿沼 スミ江	6
	4	上州ひょうたん会	原 角雄	50
	5	境フラワーアレンジメントサークル	斉藤 美智子	33
	6	フラワーアレンジメント華	茂木 徳子	15
	7	原ノ城窯	鈴木 茂	13
	8	天然石ビーズアクセHANA	近藤 悦子	10
		合 計		
書道	1	清月書道会	福田 令子	40
	2	書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3	書藝研究社	北爪 真里子	30
	4	円かな書会	栗原 ウメ子	18
	5	玉葉会	石橋 満津枝	17
	6	昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7	祥山書会	神宮 まり子	11
	8	木村かな書道会	木村 和子	13
	9	書宝会	松本 近史	10
	10	雪月華書道会	高野 千春	10
	11	草友会	高柳 託治	9
	12	大蛙洞書道会	大貫 八生	20
	13	東光書道会	新井 哲郎	40
	14	瀏名印社	大貫 勝利	13
	15	翠香会	根岸 幸子	30
	16	書道研究聖筆会	星野 明	10
	17	利根書会	町田 直美	13
	18	松友会	井田 眞一	14
	合 計			378
写真	1	豊受写真クラブ	田部井 正夫	10
	2	写団国定	神田 武	7
	3	写団チングルマ	橋本 智明	18
	4	ほのぼの写真クラブ	前野 龍一	10
	5	P.C アベックス	池田 育兄	15
	6	写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	50
	7	[写心塾]A.P.C.	秋山 曄	11
	8	いせさき写真友の会	高澤 良彦	20
		合計		
華道	1	伊勢崎いけばな協会 桜	長谷川 恭子	100
	2	伊勢崎いけばな協会 松	永島 治子	100
		合 計		
茶道	1	伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	庭野 尚子	123
	2	伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 アグリ	120
	3	伊勢崎茶道会表千家	小林 昭枝	210
	4	伊勢崎茶道会裏千家	大竹 里子	200
	5	伊勢崎茶道会江戸千家	有川 よし子	30
	6	煎茶道東阿部流	新井 幸子	22
	7	煎茶道方円流	丹波 真知子	28
		合 計		
文学	1	みさと短歌会	吉沢 典子	7
	2	境図書館短歌会	光山 半彌	18
	3	群馬童話研究会	星 瑛子	13
	4	鈴木惣太郎を守る会	新藤 暁旦	40
	5	紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	6	伊勢崎市民俳句会	真鍋 俊男	16
		合 計		

令和2年度伊勢崎市文化協会役員名簿

敬称略

役 職	氏 名	選出部門
会 長	諏 訪 勝 美	—
副会長	新 井 哲 郎	書 道
〃	児 島 貞二郎	美 術
〃	丸 橋 孝 男	書 道
〃	関 勝 已	吟剣詩舞
書 記	星 瑛 子	文 学
〃	石 倉 優美子	邦楽舞踊
会 計	川 島 かずみ	邦楽舞踊
〃	大 和 洋 司	自 然
監 事	糸 井 清 春	郷土芸能
常任理事	茂 木 徳 子	美 術
〃	橋 本 智 明	写 真
〃	岡 村 文 夫	写 真
〃	長谷川 恭 子	華 道
〃	永 島 治 子	華 道
〃	中 島 アグリ	茶 道

役 職	氏 名	選出部門
常任理事	有 川 よし子	茶 道
〃	吉 沢 典 子	文 学
〃	池 田 昌 子	音 楽
〃	石 橋 久	音 楽
〃	植 木 昭 一	歌 謡
〃	船 戸 省三郎	歌 謡
〃	原 けい子	吟剣詩舞
〃	大 谷 ヒデ子	民謡民舞
〃	清 水 洋 子	民謡民舞
〃	小 林 好 夫	郷土芸能
〃	永 島 トシ江	洋 舞
〃	細 野 京 子	洋 舞
〃	小野里 美恵子	自 然
〃	菊 地 正 之	諸 芸
〃	村 岡 武 雄	諸 芸

伊勢崎市文化協会会報編集委員名簿

敬称略

No.	役 職	氏 名	部 門	団体名
1	委員長	橋 本 智 明	写 真	写団チングルマ
2	副委員長	石 田 英 生	吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 那波の会
3	委員	鈴 木 茂	美 術	原ノ城窯
4	〃	福 田 令 子	書 道	清月書道会
5	〃	永 島 治 子	華 道	伊勢崎いけばな協会 松
6	〃	有 川 よし子	茶 道	伊勢崎茶道会江戸千家
7	〃	吉 沢 典 子	文 学	みさと短歌会
8	〃	石 橋 久	音 楽	あすなろハーモニカクラブ
9	〃	船 戸 省三郎	歌 謡	あずま白樺会
10	〃	飯 塚 悦 子	邦楽舞踊	悦紅会
11	〃	鎗 木 慎紀子	民謡民舞	慎星会
12	〃	金 子 英 保	郷土芸能	赤堀郷友会
13	〃	柳 澤 節 子	洋 舞	ブルメリア
14	〃	大 和 洋 司	自 然	伊勢崎市盆栽クラブ連合会
15	〃	小保方 重 吉	諸 芸	あずま赤堀囲碁愛好会

(10)

令和2年度賛助会員名簿一覧表

順不同・敬称略

No.	団体名/会社名/個人名	住 所	代表者	電話番号
1	有限会社 ワイズ・プランニング	伊勢崎市今泉町一丁目1099	山 口 善 弘	24-5033
2	カラオケスタジオ ミナミ	伊勢崎市境上矢島218	南 和 夫	76-4129
3	紫墨会	伊勢崎市昭和町1950-1	児 島 貞二郎	25-4025
4	ナイトスポット梵	伊勢崎市中諏訪町1257-2	久 保 美由紀	23-6867
5	華乃会	伊勢崎市中田町171-23	茂 木 徳 子	63-1627
6	国定窯	伊勢崎市中田町172-10	関 口 宗 平	62-2881
7	久紀の会	伊勢崎市美茂呂町3555	児 島 美 江	24-3501
8	樹鳳会	伊勢崎市境290	小 竹 淑 子	74-5157
9	有限会社 諏訪精工	伊勢崎市国定町2-2065-3	諏 訪 勝 美	62-0126
10	ほしの呉服店	伊勢崎市国定町1丁目1250-10	星 野 勝 正	63-0144
11	有限会社 飛翔	伊勢崎市今井町410-2	西 村 敬 右	25-2018

文化協会功労表彰者

長年にわたり文化活動に多大な貢献をされてきた協会構成員の方々を表彰しています。

令和2年度

敬称略

部門	団体名	氏名
美 術	伊勢崎市くらしの会	木島 勝恵
書 道	昇雲会	藤枝 幹雄
写 真	P.C アベックス	池田 育兄
華 道	伊勢崎いけばな協会 松	小林 登志子
茶 道	伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	猪脇 典子
文 学	境図書館短歌会	光山 半彌
歌 謡	NPO伊勢崎市福祉歌踊連合会	清水 巖
邦楽舞踊	彩扇会	須賀 いせ子
吟剣詩舞	吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	上村 静江
民謡民舞	旭星会、旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁
郷土芸能	荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎
洋 舞	フォークダンス境	高田 二佐子
諸 芸	伊勢崎マジシャンクラブ	久保田 英夫

令和3年度

敬称略

部門	団体名	氏名
美 術	境きりえの会	小林 操
書 道	円かな書会	栗原 ウメ子
写 真	日報連伊勢崎支部	岡村 文夫
華 道	古流松藤会	大和田 貞代
茶 道	伊勢崎茶道会江戸千家宗家	中島 アグリ
文 学	群馬童話研究会	栗原 章二
歌 謡	あずま白樺会	船戸 省三郎
邦楽舞踊	舞踊松葉会	田所 陽子
吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	鈴木 禧栄
民謡民舞	優乃会	水島 正枝
郷土芸能	八斗島民芸保存会	神倉 巳由
自 然	伊勢崎小品盆栽会	小林 昌明
諸 芸	あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉

(9)

